

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **04153795 A**(43) Date of publication of application: **27.05.92**

(51) Int. Cl. **G07F 17/40**
G06F 15/21

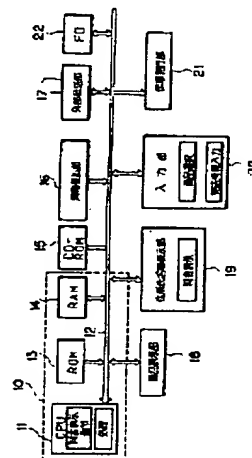
(21) Application number: **02279618**(71) Applicant: **GLORY LTD**(22) Date of filing: **18.10.90**(72) Inventor: **MURAYAMA FUMIAKI**(54) **COMMODITY SENDING RECEPTION DEVICE**

(57) Abstract:

PURPOSE: To automate the reception for sending of the gift commodities by storing the sender information signal in a storage means or transmitting the signal to an external device and at the same time setting the difference between a received amount and a displayed charge to a change signal.

CONSTITUTION: A money reception/payment part 16 starts its operation in response to the command given from a CPU 11 and discriminates, counts and stores the received money. Then the part 16 the commodity sending charge and pays the change. An external transmission part 17 transmits the transaction data such as the name of the ordered commodity, the quantity of the commodity, the received charge, the sending destination, the sender, etc., which are stored in a RAM 14 to a host computer of a commodity sending system via a communication circuit. The host computer arranges for sending the commodity through a department where the commodity is actually stocked. As a result, the sending and adjustment jobs are automated for the gift commodities and the labor is saved for the receiving jobs for sending the commodities. Furthermore the commodity sending speed is increased.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio



⑫ 公開特許公報(A) 平4-153795

⑬ Int. Cl.⁵G 07 F 17/40
G 06 F 15/21

識別記号

3 3 0

庁内整理番号

8208-3E
7218-5L

⑭ 公開 平成4年(1992)5月27日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全12頁)

⑮ 発明の名称 商品発送受付け装置

⑯ 特 願 平2-279618

⑰ 出 願 平2(1990)10月18日

⑱ 発 明 者 村 山 文 明 兵庫県姫路市下手野1丁目3番1号 グローリー工業株式
会社内⑲ 出 願 人 グローリー工業株式会 兵庫県姫路市下手野1丁目3番1号
社

⑳ 代 理 人 弁理士 佐藤 一雄 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

商品発送受付け装置

2. 特許請求の範囲

少なくとも商品の内容と価格に関する情報を可視的に表示し得る商品表示手段と、

該商品表示を見てなされる商品の選択操作に回答して選択された商品名を表す商品名信号を発生する商品選択手段と、

送り先及び送り主の住所氏名の入力操作に回答して送り先を表す送り先情報信号と送り主を表す送り主情報信号を発生する発送情報入力手段と、

前記商品名信号に対応する価格に前記送り先情報信号に基づいて得られる配送料金を加算し、この加算結果を料金表示手段に表示させる料金表示指令手段と、

該表示料金を見て投入された貨幣の金額を判別して該金額を表す受入れ金額信号を出力すると共

に、釣銭として投出すべき貨幣の金額を表す釣銭信号に回答して予め収納されている貨幣の中から該当する金額だけ投出する貨幣受払部と、

前記受入れ金額信号の金額が前記表示料金以上であるときに少なくとも前記商品指定信号、前記送り先情報信号、前記送り主情報信号を記憶保存手段に記憶しまたは外部の装置に転送すると共に、前記受入れ金額信号の金額が前記表示料金を超えるとき、前記受入れ金額と前記表示料金との差額を前記釣銭信号に設定する処理手段とを備えることを特徴とする商品発送受付け装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、商品の発送受付けを自動的に行う商品発送受付け装置に関する。

〔従来の技術〕

デパートやスーパーマーケットにおける贈答用商品の販売形態は、中元、歳暮の時期に特別に会場を設定し、多種多様な商品を1ヶ所に展示して

顧客の便宜を図り、多数の係員を集中的に配置して人手によって贈答商品の発送受付けを処理している。

また、このような特別の時期以外は一般に各売場にて受付けている。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、中元等の時期以外でも商品を送る機会はある。このような場合にデパート等の売り場を見回って贈答商品を決めるのは面倒なものであり、送り先の数が少ない場合に、わざわざデパート等まで出掛けるのは非効率的でもある。

このようなとき、郵便局のいわゆる「故郷小包」として知られる贈答用商品を利用すれば自宅から比較的近い場所で用が済むと考えられるが、上記「故郷小包」で扱う商品の種類はデパート等に比して少なく、また、地方の特産品等に限られるため利用者の選択の幅は狭い。

一方、デパート等の商品販売者にとっても、それほど、顧客が利用しないにもかかわらず常時贈答品受付担当者を各売場に待機させておくことは

額を表す釣銭信号に回答して予め収納されている貨幣の中から該当する金額だけ投出する貨幣受払部と、上記受入れ金額信号の金額が上記表示料金以上であるときに少なくとも上記商品指定信号、上記送り先情報信号、上記送り主情報信号を記憶保存手段に記憶または外部の装置に転送すると共に、上記受入れ金額信号の金額が上記表示料金を超えるとき、上記受入れ金額と上記表示料金との差額を上記釣銭信号に設定する処理手段とを備えることを特徴としている。

〔作 用〕

商品を送送しようとする利用者は、カラー液晶画面等の商品表示手段に表示された商品の内容や価格等に関する各種商品情報を見て商品を選択し、キーボードスイッチ等の商品選択手段によってこれを入力する。また、タッチパネルや手書き入力パネルと電子ペンの組合せ等による発送情報入力手段によって、商品の送り先及び送り主を入力する。

商品の選択や送り先及び送り主等の入力が終了

余分な人員を必要とすることになる。

よって、本発明は、贈答商品の発送受付けを自動的に行える商品発送受付け装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、本発明にかかる商品発送受付け装置においては、

少なくとも商品の内容と価格に関する情報を可視的に表示し得る商品表示手段と、該商品表示を見てなされる商品の選択操作に回答して選択された商品名を表す商品名信号を発生する商品選択手段と、送り先及び送り主の住所氏名の入力操作に回答して送り先を表す送り先情報信号と送り主を表す送り主情報信号を発生する発送情報入力手段と、上記商品名信号に対応する価格に前記送り先情報信号に基づいて得られる配送料金を加算し、この加算結果を料金表示手段に表示させる料金表示指令手段と、該表示料金を見て投入された貨幣の金額を判別して該金額を表す受入れ金額信号を出力すると共に、釣銭として投出すべき貨幣の金

すると、料金表示指令手段は、選択された商品の価格（単位×数量）に配送料金を加算して得られる料金をCRT等の料金表示手段に表示させる。この表示を見て、利用者が貨幣を投入すると、貨幣受払手段によって金額の過不足が判断され、投入金額が多い場合には釣り銭が支払われる。必要な料金が支払われると、商品名と、商品の送り先と、送り主等が情報記憶媒体に記憶されて、あるいはこれ等の商品の発送に必要な情報が外部の商品配送のためのシステムに転送されて伝達される。

この結果、利用者の指示操作に基づいて商品の発送が自動的に行われ得る。

〔実施例〕

以下、図面を参照しつつ本発明の商品発送受付け装置について説明する。

第2図は、本発明にかかる商品発送受付け装置の外観を示しており、装置の正面に商品を可視的に紹介する画面表示器1、この近傍に設けられて画面の表示内容を切替える指令を操作に応じて発令する表示切替スイッチ2及びキーボードスイッ

チやCRT表示器の配列された操作卓3が設けられる。

画面表示器1は、カラー液晶表示器やカラーCRT等の商品の外観や文字情報等の2次元情報の表示を行い得る表示器であり、商品表示手段に対応する。

操作卓3には、紙幣や硬貨の受払を行う貨幣受払部の紙幣入出金口4及び硬貨入出金口5、商品の発送先や送り主を入力する発送操作部6、住所等を手書きで入力するための手書入力部7、発送控え伝票を投出する伝票発行口8が設けられている。

第3図は、操作卓3を上方から見た平面図であり、第1図と対応する構成部分には同一符号を付している。

発送操作部6は、数値入力や送り主モード、送り先モード等の指令をCPU、ROM、RAM等によって形成されるマイクロプロセッサ（以下、MPUと称する）10に対して与えるキーボードスイッチ6a、送り先の情報等を表示するCRT

6b及びこのCRT6b上に二次元に配置された透明なタッチセンサ6cによって構成される。

キーボードスイッチ6aには、「数字」キー、「CE」キー、「C」キー、「訂正」キー、「確認」キー等が配設されている。「CE」キー（クリアエントリキー）によって今入力したデータをクリアし得、「C」キー（クリアキー）によって入力した一連のデータをクリアし得る。「訂正」キー、「確認」キーについては後述する。住所、氏名、電話番号、料金等を表示するCRT6bは、住所氏名等表示部19を構成する。タッチセンサ6cは、CRT6bの画面上に操作案内等の可視情報と共に表示された「〇〇県」、「確認」、「訂正」等の選択領域を指で触れると、当該領域が選択されたことを示す指令信号を発生する。

手書入力部7は、操作者が文字の軌跡を表示するためのCRT画面上に貼着された透明な手書入力プレート7aに電子ペン7bで文字を書き込むと、これを読み取って該CRT上に、手書き文字の筆跡を示し、手書き入力された文字を判別する。

読み取った手書き文字情報はCPUに転送される。発送操作部6のキーボードスイッチ6a、タッチパネル6b及び手書入力部7は入力部20を構成し、キーボードスイッチ等によって入力された指令やデータを内部レジスタに一旦記憶し、指令に応じて転送する。

操作者は、商品が発送されるために、商品代金を支払わなければならない。この商品代金の入金や釣銭の支払いを行うための貨幣受払部16の紙幣入出金口4及び硬貨入出金口5は通常閉じており、受け払いを行うときのみ、扉が開くようになっている。

第1図は、本装置の制御系を示すブロック図であり、利用者の操作に基づいて装置を制御するCPU11は、内部に各種レジスタ、演算処理部、入出力インタフェース等を備えている。この入出力インタフェースと各部間は、データバス12によって接続される。このデータバスに接続されるROM13は、CPU11が実行すべき装置の制御プログラムを記憶している。電池でバックアッ

プされたRAM14は後述するメモリーテーブル等の、各種データの記憶領域を有し、入出力装置から転送されたデータやCPU11が処理したデータを記憶する。CD-ROM15は、商品に関する各種情報、例えば商品の外観、名称、内容、単位数量、重量、外形寸法、価格や県名、市町村名、郵便番号等の住所データを記憶しており、特定商品の指定や住所表示指令に回答して情報をデータベースを介してCPU11、商品表示部18及び住所氏名等表示部19に供給する。なお、CD-ROM15の代りに、デジタルデータを含むビデオディスクプレーヤシステムを用いて動画による商品案内を行うことも可能である。

貨幣受払部16は、CPU11からの指令に回答して動作を開始し、挿入される貨幣の鑑別、計数、収納を行って、商品発送料金の受領と釣銭の支払いを行う。

外部伝送部17は、RAM14に記憶された受注商品名、数量、受けとり料金、送り先、送り主等の取引データを通信回線を介して商品発送シス

テムのホストコンピュータに伝送する。このホストコンピュータによって商品を実際に在庫している部門に対し、商品の発送の手配が行なわれ得る。

商品表示部18は、カラー液晶画面等の可視的な二次元表示器である画像表示器1を備えており、上記商品情報、例えば、CD-ROMに記憶された商品のビデオ静止画像を表示する。

住所氏名等表示部19は、CD-ROM15から転送された住所情報や操作案内をCRT6bの画面上に表示する。

入力部20は、既述したキーボードスイッチ6a、タッチパネル6c、手書入力プレート7a及び電子ペン7bから入力される情報をデータ変換して一旦、内部レジスタに記憶し、指令に回答してRAM14の所定記憶領域あるいはCPU11に供給する。

伝票発行部21は、RAM14からデータが転送されると、発送の指令を受けた商品名、料金、受領金額、釣銭等内容を記載したレシートをCPU11からの指令に回答して発行する。

S1)。商品が指定されないときは、商品紹介画面切替受け付けルーチン(ステップS2)を実行する。このルーチンでは、表示切替スイッチ2の操作に応じてCD-ROMから別の表示画面の内容を読み出して商品表示部18に転送して画面表示器の表示内容を変更し、あるいは所定時間間隔で画面の表示商品を変更する。CPU11は、ステップS1及びS2を繰り返して利用者からの指令を待つ。

キーボードスイッチ6aからの入力によって、商品が選択されると(ステップS1)、CRT6bに、送り先に関する情報を入力するように表示させる(ステップS3)。タッチパネル6c、キーボードスイッチ6a、手書入力部7等を使用して当該情報が入力されると(ステップS4)、送り主に関する情報を入力するように表示させる(ステップS5)。タッチパネル6c等を使用して送り主に関する情報が入力されて確認キーが押圧され(ステップS6)、入力した内容に訂正がないと(ステップS7)、料金表示に移行する。

フロッピーディスクドライブ(以下、FDと称する)22は、オンライン処理を行なわない場合等に、ホストコンピュータに転送すべきデータをフロッピーディスクに逐次記録する。このフロッピーディスクを装置の管理者が定期的に回収してバッチ処理を行なう。

本装置の制御の概要について第4図を参照して説明し、その後、より詳細な説明を第5図及び第6図を参照して説明する。

第4図において、装置に電源が投入されると、装置内のメモリのリセットや初期値設定等の初期化プログラムが実行され、商品発送受付ルーチンに移行する。

初期化プログラムによって、CD-ROM15が起動し、初期画像情報が商品表示部18に転送されて、例えば第7図の如き、商品の情報が画面表示器1に示されている。商品を贈答しようとする利用者はこれを見て商品を確認することが出来る。CPU11は、利用者がキーボードスイッチ6aから商品を指定するのを監視する(ステップ

送り先情報及び送り主情報の入力終了しない、と、ステップS4~7を繰り返して入力の終了を待つ。

上記入力が終了すると、指定された商品の代金(単価×数量)に送料、税額を加えて料金を算出し、これをCRT6bに表示させる(ステップS8)。この料金に対応した貨幣を紙幣入金口4及び硬貨入金口5に分けて入れるようにCRT画面に表示させる(ステップS9)。利用者によって投入された貨幣を貨幣受払部16に鑑別させ、計数させて投入金額を検知し、これをCRT6bに表示させる(ステップS10)。料金よりも投入金額が多い時は、差額を釣銭として表示させ(ステップS11)、伝票発行部21に商品発送の申し込み控えの発行と貨幣受払部16に釣銭の投出を行わさせる(ステップS12)。外部管理機たるホストコンピュータに商品発送情報を転送して(ステップS13)、処理を終える。

第5図及び第6図を参照して上述したフローを更に詳細に説明する。

第5図において、既述した初期化を終えるとCPU11は、商品表示ステップS100を実行する。すなわち、CD-ROM15に第1番目の商品情報を商品表示部18に転送させて、画面表示器1に第1番目の商品グループの表示を行なわせる。

この商品表示は、例えば第7図の如くに商品の外観、名称、内容、単位数量、重量、外形寸法、価格等の商品情報が必要に応じて可視的に示される。画面の上部には、複数の商品名が表示されており、その内、画面下部に現在示されている商品の名称の背景が他の商品名の背景色とは異なる色で区別され、表示されている商品の名称が明確に示される。利用者が希望する商品名をキーボードスイッチ6aで入力すると、CD-ROM15からこの商品の画面情報が呼び出されて、画面下部の商品表示が入れ替えられる。

利用者は、所望の商品が表示されていないときには、表示切換スイッチ2を押す。表示切替スイッチ2には「↑」及び「↓」のスイッチが含まれ

る。「↑」のスイッチを押すと表示商品の番号が進み、「↓」のスイッチを押すと表示商品の番号が戻る。CPU11は、これを検出すると(ステップS101)、CD-ROM15に第2番目の商品グループの情報を商品表示部18に転送させる。これによって、画面表示器1の商品の表示内容が変更される(ステップS102)。

利用者によって、キーボードスイッチ6aの商品番号と確認キーとが押圧されて商品が選択されるまで、ステップS100~103を繰り返し、商品表示を継続する。

なお、一定時間以上装置が利用されないときは、所定周期で画面の商品表示内容を順次自動的に更新するようにして、商品の広告装置として機能させることも可能である。

利用者によって、キーボードスイッチ6aの「数字キー」によって商品番号が指定され、その後確認キーが押圧されて商品が選択されると(ステップS103)、この商品番号は入力部20の内蔵レジスタに一旦記憶され、その後RAM14

の商品名記憶領域に転送される。なお、「数字キー」を押し間違えた場合には「CE」キーまたは「C」キーによって、入力データをクリアし、再入力出来る。次いで、発送すべき商品の数量を入力するようにCRT6bに表示が指令され、キーボード6aから数量が入力されると(ステップS104)、この入力内容は入力部20が内蔵するレジスタに一旦記憶され、その後RAM14の数量記憶領域に転送される。

商品及び数量の選択が終わると、送り先の入力モード(ステップS3に対応する)に移行する。

CPU11は、CD-ROM15に都道府県名の一覧表を商品表示部18に転送させる。すると、CRT6bに第8図の如き送り先の都道府県名の一覧が表示される(ステップS105)。利用者が該当する都道府県名の上に指を触れると(ステップS106)、タッチパネル6cによって画面上の位置が判別され、県名等が検知される。検知された県名等は、入力部20に内蔵されたレジスタに一旦記憶された後RAM14の県名記憶領域

に転送される。

県名等の入力が終わると、CPU11は、CD-ROM15に市町村郡名の一覧表を商品表示部18に転送させる。すると、CRT6bに第9図の如き送り先の市町村郡名の一覧が表示される(ステップS107)。タッチパネル6cによって市町村名等が入力されると(ステップS108)、市町村郡名等は、入力部20に内蔵されたレジスタに一旦記憶され、その後RAM14の市町村名記憶領域に転送される。CPU11は、CD-ROM15に選択された市町村郡内の町名の一覧表を商品表示部18に転送させる。すると、CRT6bに送り先の町名の一覧が表示される(ステップS109)。タッチパネル6cによって該当する町名が入力されると(ステップS110)、この町名は入力部20の内蔵レジスタに一旦記憶され、その後RAMに転送されて町名記憶領域に転送される。

CPU11は、RAM14の県名記憶領域、市町村名記憶領域、町名記憶領域に記憶された送り

先住所のデータに基づいてCPU15に郵便番号のサーチを指令する。郵便番号がサーチされると、これをRAM14の郵便番号記憶領域に記憶させると共に商品表示部18に転送させて、RAM14に記憶された都道府県名、市町村郡名、町名と共に表示させる(ステップS111)。更に、キーボードスイッチ6aの数字キーによって番地を入力するように表示させ(ステップS112)、番地が入力されると(ステップS113)、これを入力部20の内蔵レジスタに一旦記憶させ、その後RAM14に転送させ、RAM14内に形成される送り先住所のデータを完成させる。

市町村郡名の指定において該当する名称が見当たらない場合(ステップS108, 114)、あるいは町名の名称が見当たらない場合(ステップS110, 118)には、第9図の如き「該当なし」が押圧される。このときは、電子ペンによる手書きによって住所データを得るべく、手書入力モードに移行する。

画面の氏名の枠内に順次表示される。文字の判別が出来ないときは、再度手書き入力を要求する(ステップS121, 122)。タッチパネル6cから氏名の手書入力の終了が知らされるまで(ステップS123)、氏名データをRAM14の氏名記憶領域に蓄積する(ステップS121~123)。

氏名の手書入力が終了すると(ステップS123)、CPU11は、住所氏名表示部19に電話番号入力表示を指令する。すると、CRT6bの画面にはキーボードスイッチ6aの数字キーから電話番号を入力するように案内が表示される(ステップS124)。キーボードスイッチ6aから電話番号の数値が入力されると一旦入力部20の内部レジスタに記憶される。

電話番号の入力が終了すると、CPU11は、入力された送り先情報を住所氏名等表示部19に転送すると共にこれ等の表示を指令する(ステップS125)。すると、第12図の如き画面表示がなされる。

利用者が、手書き入力プレート7a上に電子ペン7bで一文字ずつ書くと、CPU11はこれを判別して(ステップS116)、第10図の如くCRT6b上に判別した文字を逐次表示する。判別出来ない場合は再度文字の入力を要求する(ステップS115, 116)。タッチパネル6cより、手書き終了が入力されると(ステップS117)、判別された文字による住所データが入力部20からRAM14の市町村名記憶領域に転送される。この後、ステップS111に移行して既述した郵便番号表示(ステップS111~113)を行う。

送り先住所のデータが完成すると、送り先の氏名データを得るべく、CPU11は、住所氏名表示部19に氏名の手書き入力表示を指令する。すると、CRT6bには氏名を手書きで入力するように第11図の如き表示がなされる(ステップS121)。操作者によって手書入力プレート7aに電子ペン7bで文字が描かれると、一文字毎に判別される。判別された文字はCRT6bの

CPU11は、キーボードスイッチ6a上、または第12図の如きタッチパネル6c上から、「確認」または「訂正」の指令が発令されるのを監視する(ステップS126, 127)。例えばタッチパネル6cの訂正領域が押圧されると(ステップS127)、訂正モード(ステップS128)を実行する。

訂正モードでは、CRT6bの画面には第13図の如き入力された送り先の情報及びカーソル移動キーが表示されている。操作者は、このCRT画面上のタッチパネル6cまたはキーボードスイッチ6aからの入力によって、訂正が必要な範囲をカーソルで指定し、再入力を行うことにより訂正することができる。例えば、氏名の「山田太郎」を訂正するときはカーソル移動キーによって、まず、「山」にカーソルを合わせて指定キーを押し、次に、「郎」にカーソルを合わせて指定キーを押すことによって訂正範囲が定められる。なお、操作者は、キーボードスイッチ6aから取り消しを指令して、画面表示内容の全てをクリアし、初め

からデータの入力をやり直すとしても良い
(ステップS128)。

確認キーが押圧されると(ステップS126)、
送り先情報の入力は終了する。

送り先情報の入力と同様のステップ(S105
~124)によって、送り主の情報の入力を行う
(ステップS130)。後述のステップS138
で入力の繰り返しを選択した二度目の送り主の情
報の入力では、前回の送り主が記憶されている。
そこで、同一送り主である場合に、継続入力の指
令がなされていると(ステップS129)、前回
の送り主の情報をCRT6bに表示させ(ステッ
プS131)、これを今回の送り主情報として記
憶する。

送り主情報に訂正があれば、ステップS128
と同様の訂正モードによって内容の訂正を行う
(ステップS134)。操作者によって送り主情
報に誤りがないことが確認され、確認キーが押圧
されると(ステップS132)、指定された商品
名、数量、単価、送り先データ、送り主データを

を見て、入力のエラーや予算オーバーがないかを
判断する。訂正が指令されると(ステップS
142)、訂正入力ルーチン(ステップS143)
を行なって、例えば商品の種類や数量の変更を受
け付ける。訂正が終了した後は、ステップS
139に戻って料金計算を再度行ない、上記一覧
表を訂正する。

訂正の必要がなく(ステップS142)、キー
ボードスイッチ6aまたはタッチパネル6cの確
認のキーが押圧されると(ステップS144)、
CRT6bに「入金口に料金を入れるよう」に表
示させる(ステップS145)。貨幣受払部16
に、受け払いを行なうように指令する(ステッ
プS146)。この指令に回答して貨幣受払部16
は、紙幣入出金口4及び硬貨入出金口5を開口し
て待機する。

貨幣受払部16に紙幣や硬貨が投入されると
(ステップS147)、貨幣を鑑別し、金額を計
算して(ステップS148)、投入金額を表示す
る。

一定のフォーマットで結合して商品発送データ
を作成する(ステップS135)。この商品発送デ
ータをRAM14に転送し、第15図の如くフォ
ーマットが形成されるメモリテーブルに追加する
(ステップS136)。メモリテーブルに送り先
の一覧表が作成されると、CRT6bに「他に送
り先がないか」の案内を表示させる(ステッ
プS137)。キーボードスイッチ6a、またはタ
ッチパネル6cから、まだ送り先がある旨の入力
が行われると、ステップS100~137を繰り
返して送り先一覧表を作成させる。

データ入力が終了すれば(ステップS138)、
上記一覧表の書込部分は完成する。

この一覧表が完成すると、商品の単価、数量、
送料から各送り先毎に費用の小計を計算する。次
に、総計を計算してこの一覧表の右欄に追加する
(ステップS139)。

上記一覧表の内容をCRT6bに表示させ(ス
テップS140)、訂正の必要がないかの案内を
表示させる(ステップS141)。操作者はこれ

投入金額が商品価格を超えないときは(ステッ
プS150)、貨幣の投入を待つ(ステップ
S147~150)。投入金額が商品価格と一致
するか、または商品価格を超えると(ステップ
S150)、釣銭がある場合には釣銭の額を表示
する(ステップS151)。商品発送の申込みの
控、例えば送り先一覧表と費用とを印字したレシ
ートを伝票発行部21に発行させる(ステップ
S152)。貨幣受払部16に釣銭を投出させる
(ステップS153)。送り先一覧表の内容を外
部の商品配送システムのホストコンピュータ等に
外部伝送部17を介して転送するステップ
S154)。

バッチ処理を行なう場合や取引記録を保存す
る場合には、顧客毎の送り先一覧表を、例えばフ
ロッピーディスク装置22や図示しない磁気テー
プの保存記憶手段に記憶させる(ステップ
S155)。

データの転送や記録が終了すると、次の顧客の
利用を可能とするべくデータテーブル等をリセッ

として（ステップS156）、商品表示モード（ステップS100）に戻り、上述した処理を繰り返す。

こうして、商品の発送と料金の受払とを自動的に行ない得る商品発送受付け装置が実現される。

なお、本装置は一種の無人化店舗としても機能し得るから、本装置を端末とした商品発送受けのネットワークを形成することも可能となる。

〔発明の効果〕

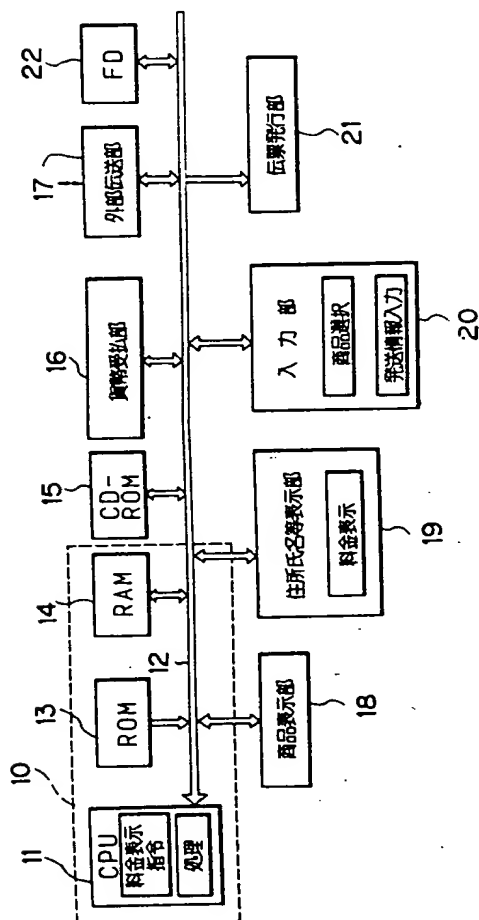
以上説明したように本発明の商品発送受付け装置によれば、入力部から商品発送に必要なデータが入力されるとメモリにこのデータの一覧表を形成し、貨幣受払機に必要な金額が投入されると上記データが商品発送システムに伝達されかつ料金の受払が行われるようにしているので、贈答商品等の商品発送及び精算が自動化される。その結果、商品発送の受付業務が省力化されると共に商品発送の迅速化が可能となる。

4. 図面の簡単な説明

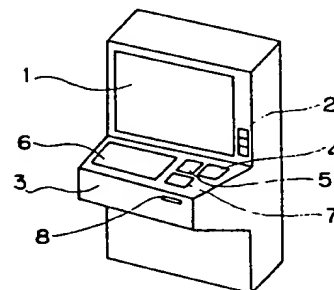
第1図は本発明にかかる装置の構成を示すブロック図、第2図は本発明にかかる装置の外観を示す斜視図、第3図は操作卓3の上面図、第4図は本装置の制御動作の概要を示すフローチャート、第5図及び第6図は制御の動作をより詳細に説明するためのフローチャート、第7図乃至第14図は表示器の表示の態様例を示す説明図、第15図はRAM14に形成されるメモリテーブルの内容の説明図である。

1…画面表示器、3…操作卓、6…發送操作部、
11…CPU、16…貨幣受払部、18…商品表
示部、19…住所氏名等表示部、20…入力部。

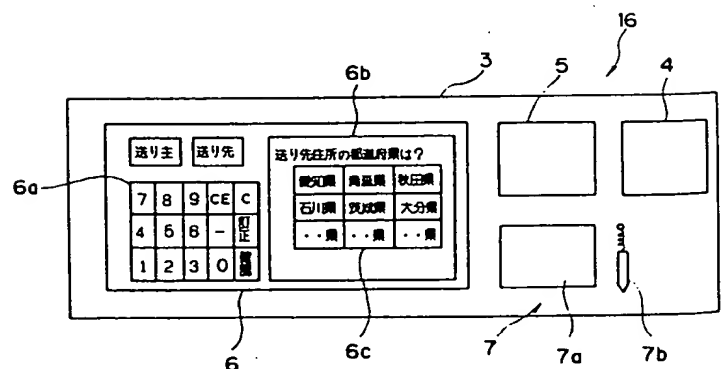
出願人代理人 佐 藤 一 雄



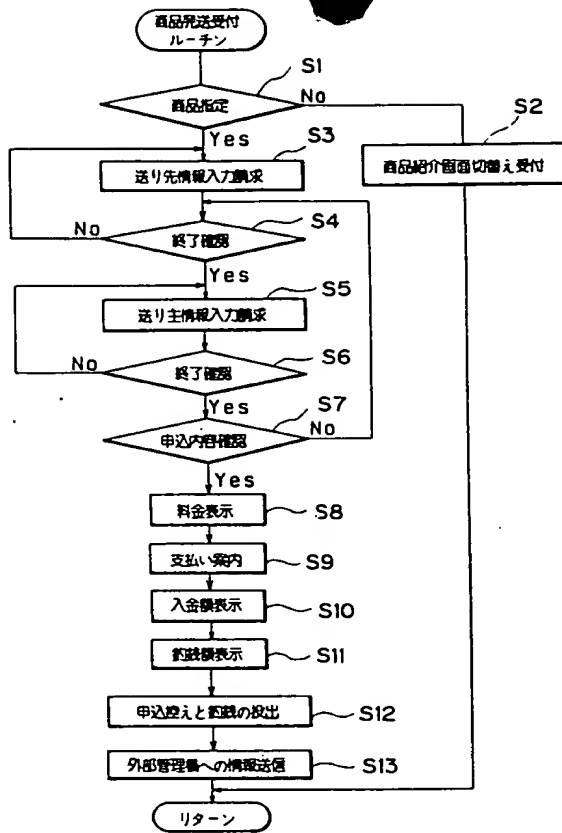
一、無



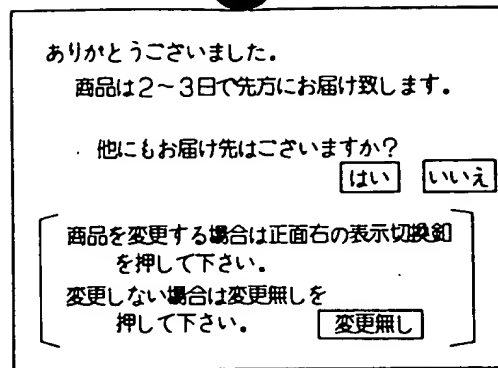
第 2 圖



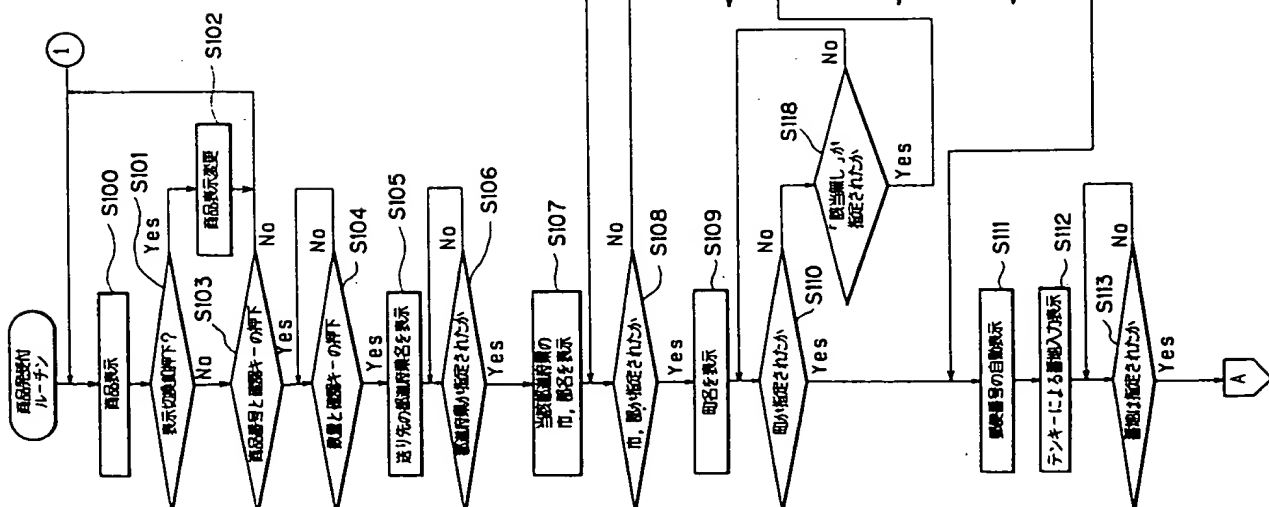
第 3 回



第 4 図

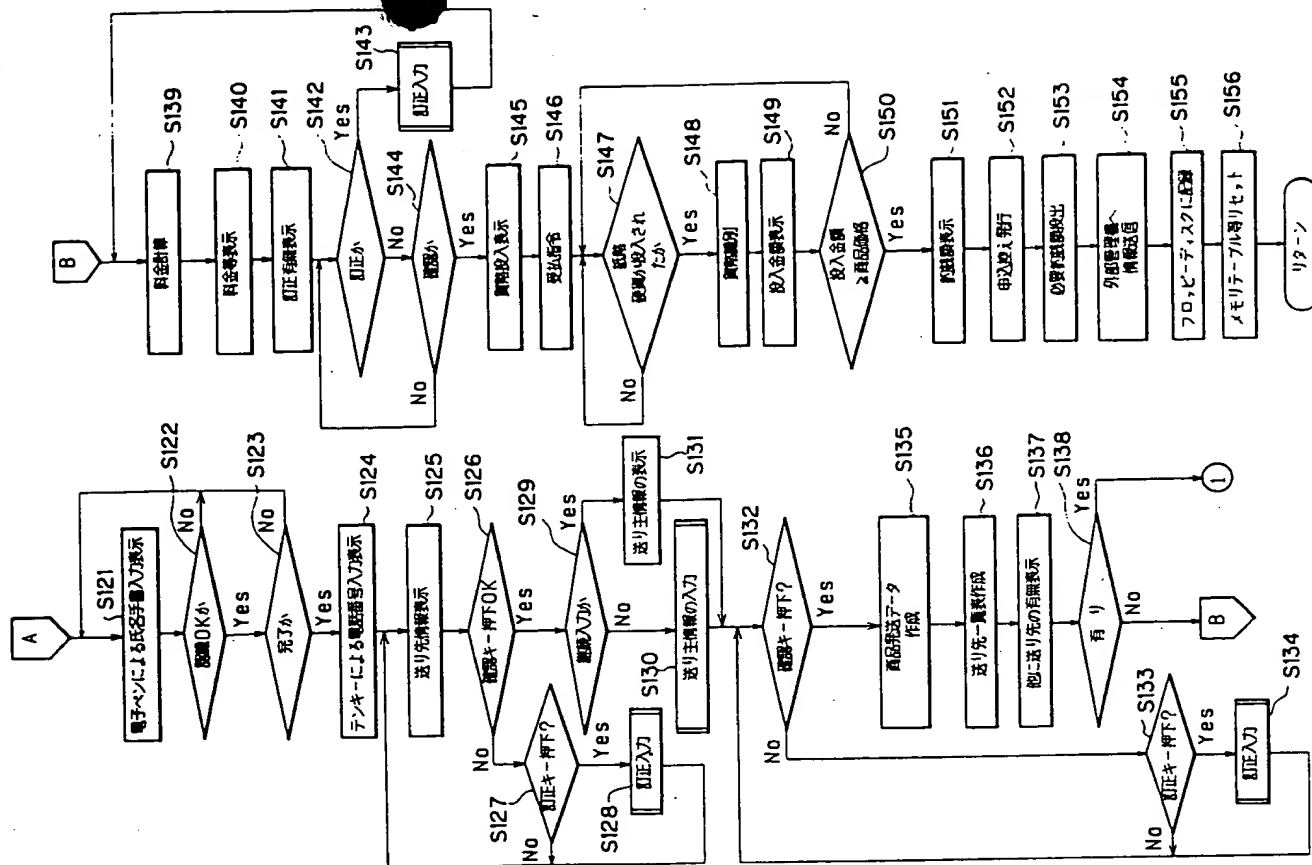


第 14 図



第 5 図

第 6 図

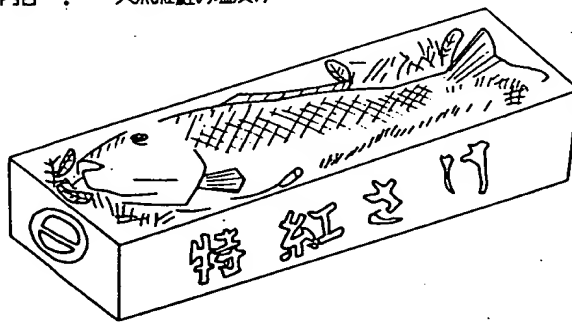


御希望の商品を手元のキーでお選び下さい。

- | | | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 特選紅鮭 6000 | ② 特選松葉蟹 5000 | ③ 甲府巨峰 4000 | ④ 岡山白桃 5000 | ⑤ 播州赤肉 5000 |
| ⑥ 特選明太子 6000 | ⑦ 黒松茸 3000 | ⑧ 焼き穴子 4000 | ⑨ 特選数の子 5000 | ⑩ 静岡産茶 5000 |

希望のNo. + 確認キー を押して下さい。

価格 : 6000円
 数量 : 1匹 / 2kg
 内容 : 天然紅鮭の塩漬け



第 7 図

*送り先氏名を電子ペンで入力して下さい。

愛知県△△市△△町1-1

横

郵便番号 〒 446

*手書き入力は完了しましたか。

第 11 図

*送り先住所氏名を確認下さい。

愛知県△△市△△町1-1

山田太郎様

郵便番号 〒 446

電話番号 ☎ 0566-22-xxxx

第 12 図

*訂正詳細をカーソルで示して下さい。

愛知県△△市△△町1-1

郵便番号 〒 446

電話番号 ☎ 0566-22-xxxx

*カーソル移動

第 13 図

*送り先住所の都道府県を選んで押して下さい。

愛知県	青森県	秋田県
石川県	茨城県	大分県
...

第 8 図

*送り先住所は愛知県の市町村ですか。

もし表示がないときには「該当無し」を選んで、右側の電子ペンで地名を1文字ずつ手書きを入力して下さい。

愛知県	安	保	一	宮
大	府	岡	岡	豊
神	奈	川	名	...

第 9 図

送り先住所

愛知県△△

*手書き入力は完了しましたか。

第 10 図

番号	商品名	送り先	送り主	単価	数量	送料	小計
1	特選鮭	愛知県〇〇市〇〇 xxxx	東京都〇〇区〇〇 xxxx	6000	1	800	6800
2	特選鮭	石川県〇〇市〇〇 xxxx	東京都〇〇区〇〇 xxxx	6000	2	1000	13000
3	特選鮭	千葉県〇〇市〇〇 xxxx	東京都〇〇区〇〇 xxxx	6000	1	500	6500
4	甲府鱒	千葉県〇〇市〇〇 xxxx	東京都〇〇区〇〇 xxxx	4000	1	500	4500
n							

総計	30800
----	-------

第 15 図